

3. 目標達成に必要となる取組み及び戦略の考え方について

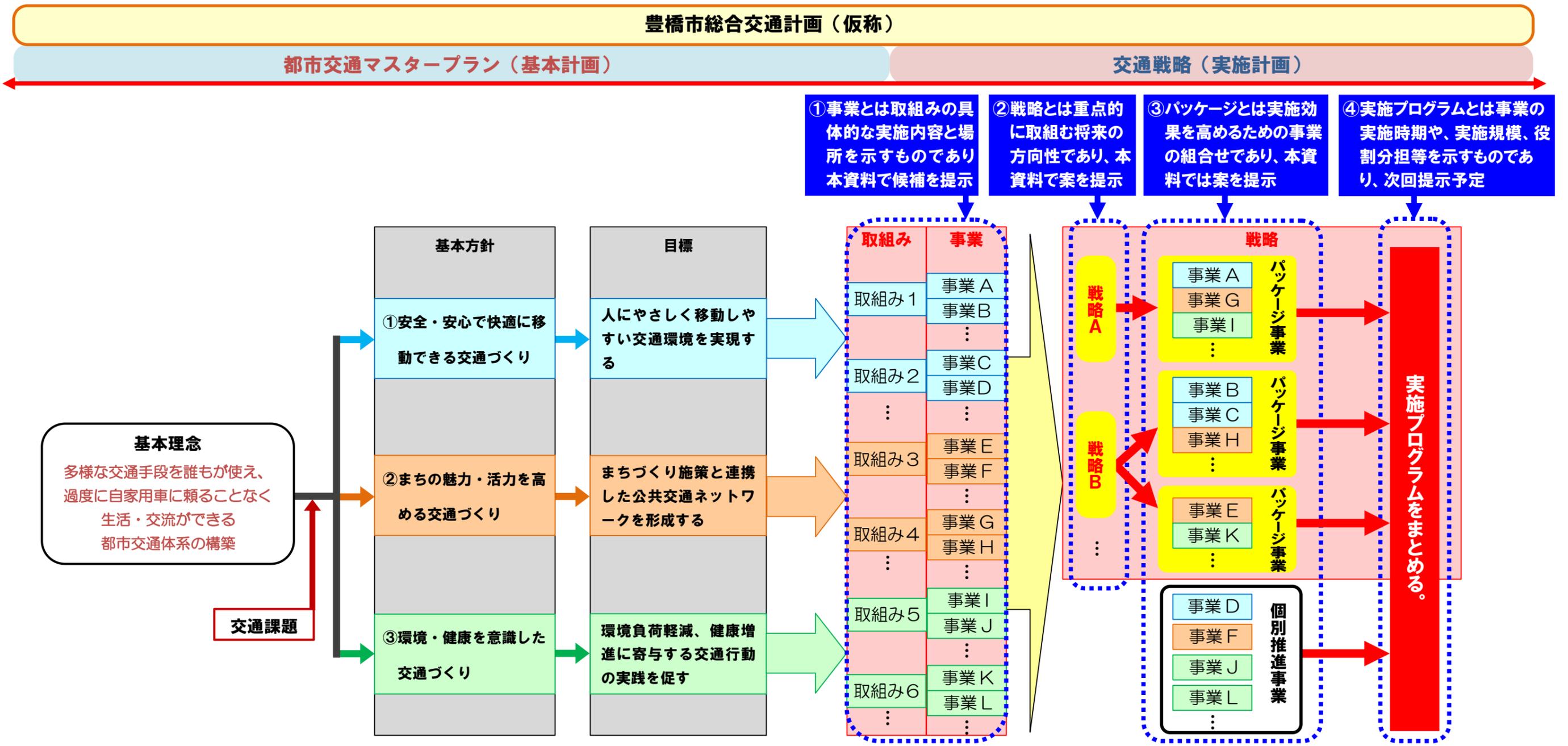
3.1 交通戦略の目的

- 交通戦略は、集約型都市構造の実現と市民生活の質の向上、交通課題の解決に向けて、様々な事業をより効果的・効率的に展開を図るため、都市交通マスタープランの計画期間である平成28～37年度の10年間のうち、前期（平成28～32年度）と後期（平成33～37年度）に区分して具体的な事業展開を示す実施計画である。

3.2 戦略の設定までの流れ

- 都市交通マスタープラン(基本計画)の「基本方針」で掲げる交通づくりと「目標」の達成を目指し、基本方針別及び交通手段別の「取組みの基本的な考え方」に基づき立案された各取組みに対し、その具体的な事業を検討(下図①)

- 「目標」の達成を目指すために、重点的に展開する将来の方向性を戦略として設定(下図②：詳細は4頁参照)
- 設定した戦略に基づき、一体的・複合的に実施することにより相乗効果が高まる事業をパッケージ化(下図③)
- パッケージ化はしないが、単独で実施すべき事業は個別推進事業として位置付け(下図③)
- 各事業について「いつ、誰が、なにをやるのか」を明確にするため、実施時期や実施規模、役割分担等を示す実施プログラムを作成(下図④)



3.3 目標達成に必要な取組みの立案

- 都市交通マスタープラン(基本計画)の基本方針別及び交通手段別の「取組みの基本的な考え方」を踏まえて、「基本方針」、「目標」ごとに取組みの立案を以下のとおり行った。

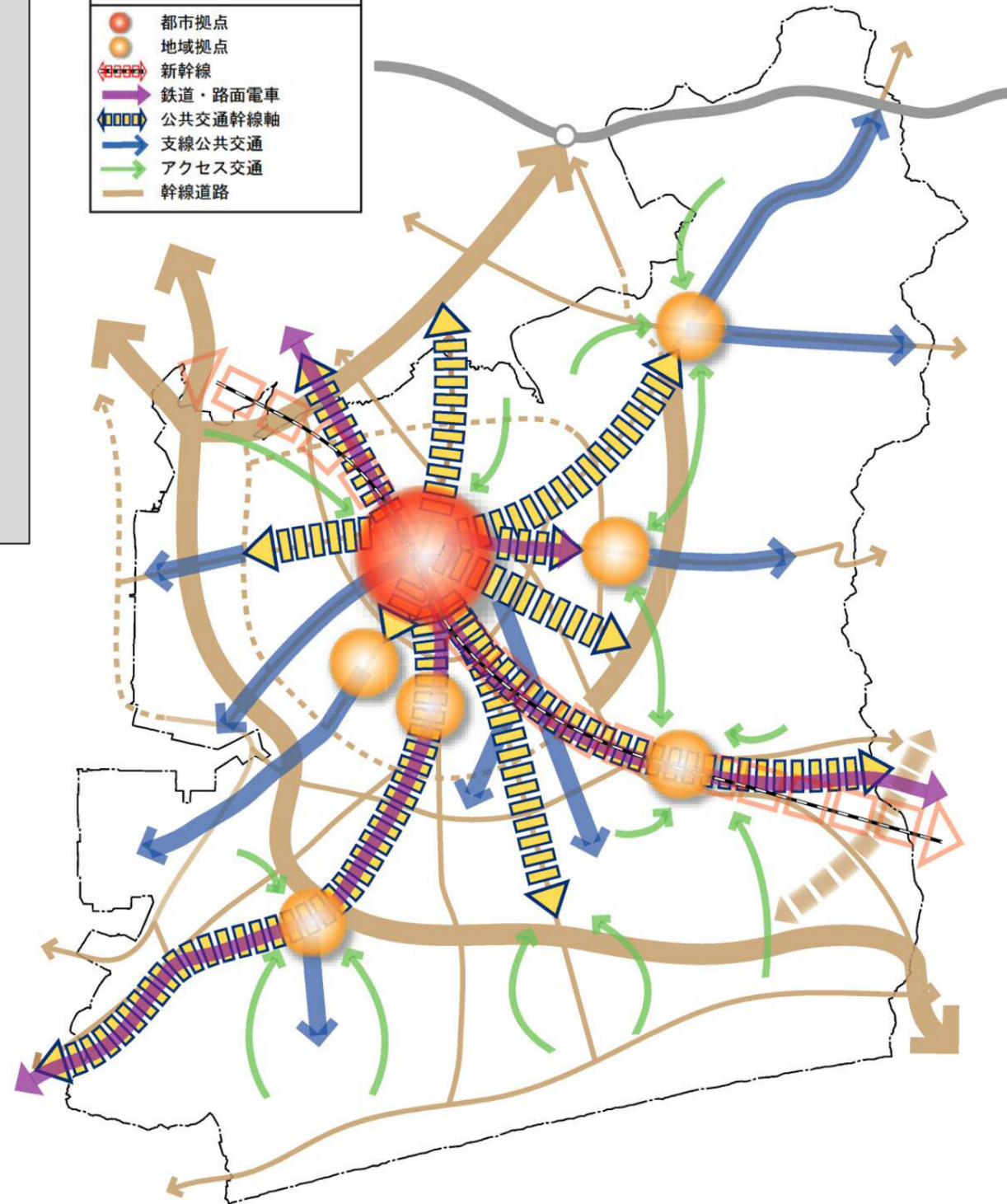
基本方針と目標	分類						取組みの基本的な考え方 (キーワード)	取 組 み	
	基本方針別	交通手段別							
		徒歩	自転車	公共交通全体	路面電車	バス			自動車
基本方針1 安全・安心で快適に移動できる交通づくり	目標① 人にもやさしく移動しやすい交通環境を実現する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	快適に移動できる「質」の高い交通づくり	★交通施設のバリアフリー化等の促進 ○交通施設のバリアフリー化 ○交通施設の更新 ○バリアフリー車両による病院系統バス路線の運行	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	路線やサービスを維持し、さらなる利便性の向上、駅の魅力の向上		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	待合環境の安全性、快適性の確保		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	災害に強い交通づくり	★交通施設の地震防災対策 ○交通施設の耐震化 ○緊急輸送道路網の整備 ○電線共同溝の整備
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	都市拠点や地域拠点に行きやすい公共交通ネットワークの形成	★公共交通空白地域の移動利便性の向上 ○「地域生活」バス・タクシーの運行 ○「地域生活」バス・タクシーの再編 ○「地域生活」バス・タクシーの新規地区の運行
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	公共交通空白地域において「地域生活」バス・タクシーにより、高齢者など自家用車を利用できない住民の日常の交通手段を確保		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	自動車を中心とした整備から歩行者や自転車、公共交通と共存できる道路空間の整備	★安全で安心して利用することができる生活道路への改良 ○ゾーン30や事故危険箇所などの安全対策の取組拡大 ○自転車通行空間の整備 ○市民の交通ルール遵守やマナーの更なる向上
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市民の交通ルール遵守やマナーの向上		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	安全性が高く、安心して歩くことができる環境の整備		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	自転車利用者がルールを遵守し歩行者に配慮する交通安全意識の醸成		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	自動車を中心とした整備から歩行者や自転車、公共交通と共存できる道路空間の整備(再掲)	★渋滞を解消し自転車や公共交通も通りやすい幹線道路の整備 ○幹線道路の整備 ○右折レーン設置などの交差点改良		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市街地への通過交通の削減や道路交通の円滑化のための道路整備、交通安全対策				
基本方針2 まちの魅力・活力を高める交通づくり	目標② まちづくり施策と連携した公共交通ネットワークを形成する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	拠点を中心とした人々の交流を促進	★公共交通幹線軸と支線公共交通により、効率的に移動できる公共交通の整備 ○公共交通幹線軸となり得るサービスの向上 ○公共交通幹線軸における道路環境の整備 ○公共交通幹線軸を補完する支線公共交通の確保	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	徒歩や自転車、公共交通の利便性向上		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	幹線・支線の役割を明確にした公共交通ネットワークの形成		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	公共交通ネットワークの骨格をなす公共交通幹線軸の路線ごとのサービス水準や必要となる機能の検討		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	公共交通幹線軸を補完し、面的に公共交通でカバーするために、支線公共交通や交通結節点へのアクセス交通の展開		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	幹線としての運行頻度や時間帯などを確保し、利便性の高い交通としていくこと		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	支線路線となるバスを維持、確保	★公共交通を気軽に快適に利用できる環境の整備 ○ICカード導入 ○公共交通のわかりやすい運賃体系の導入 ○公共交通運賃の低廉化 ○公共交通運行情報の提供 ○電停、主要バス停のグレードアップ ○公共交通のトータルデザイン化	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	徒歩や自転車、公共交通の利便性向上(再掲)		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	徒歩や自転車、公共交通の利便性向上(再掲)		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	輸送力や速達性向上		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	路線やサービスを維持し、さらなる利便性の向上、駅の魅力の向上		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	拠点を中心とした人々の交流を促進(再掲)		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	歩行者が優先され回遊性が高まる歩行空間の整備		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	自転車が安全で快適に移動できる利用環境の整備	★都市拠点内で楽しく、安全で安心して移動できる環境の整備 ○都市拠点内の主要道路におけるストリートデザイン化 ○都市拠点内における自転車通行空間の整備 ○都市拠点内における駐輪環境の整備			
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	まちなかの回遊性を高めるための駐輪環境の確保				
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	徒歩や自転車、公共交通の利便性向上(再掲)				
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	広域移動の利便性向上に向けた検討	★広域交流を支える交通基盤の整備 ○都市間幹線鉄道の利便性向上 ○広域バス路線の隣接都市への乗入 ○広域幹線道路の整備促進		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市街地への通過交通の削減や道路交通の円滑化のための道路整備、交通安全対策				
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	交通結節点の機能向上	★交流を促し、交通手段相互の円滑な乗り換えやアクセス性に優れた交通結節点の整備 ○交通結節機能の整備		
基本方針3 環境・健康を意識した交通づくり	目標③ 環境負荷軽減、健康増進に寄与する交通行動の実践を促す	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	適正な自家用車の利用と公共交通や徒歩・自転車利用の促進	★かしこいクルマの使い方を促し、環境負荷の低減や健康の増進 ○公共交通条例(仮称)の制定 ○公共交通利用啓発イベントの実施 ○民間事業所とエコ通勤の推進 ○自転車活用の推進 ○モビリティ・マネジメントの推進 ○スマートウエルネスシティの推進 ○低公害自動車の普及促進	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	自動車の環境対策の推進		

【取組みの実施場所のイメージ】

主に市全域を対象

- 交通施設のバリアフリー化等の促進
- 交通施設の地震防災対策
- 公共交通空白地域の移動利便性の向上
- 安全で安心して利用することができる生活道路への改良
- 渋滞を解消し自転車や公共交通も通りやすい幹線道路の整備
- かしこいクルマの使い方を促し、環境負荷の低減や健康の増進

- 凡例
- 都市拠点
 - 地域拠点
 - 新幹線
 - 鉄道・路面電車
 - 公共交通幹線軸
 - 支線公共交通
 - アクセス交通
 - 幹線道路



主に公共交通幹線軸・支線公共交通を対象

- 公共交通幹線軸と支線公共交通により、効率的に移動できる公共交通の整備
- 公共交通を気軽に快適に利用できる環境の整備
- 持続可能な公共交通幹線軸として交通基盤の整備

主に都市拠点、地域拠点を対象

- 都市拠点内で楽しく、安全で安心して移動できる環境の整備
- 交流を促し、交通手段相互の円滑な乗り換えやアクセス性に優れた交通結節点の整備

主に市外と結ぶ鉄道、バス路線、道路を対象

- 広域交流を支える交通基盤の整備

文字の色は、取組みに該当する基本方針・目標を指す。

- 基本方針1・目標1
- 基本方針2・目標2
- 基本方針3・目標3

【将来(平成37年度頃)の都市交通体系のイメージ】

3.4 戦略について

【戦略の考え方】

- 交通戦略は、集約型都市構造の実現と市民生活の質の向上、交通課題の解決に向けて、様々な事業をより効果的・効率的に実施するため、右図に示す『現在の主なイメージ』の状況に対して、ポイントを絞って事業展開を図ることが重要である。
- 「安全・安心・快適」に移動でき、まちの「魅力・活力」が高められ、「環境・健康」を意識した交通づくりを目指し、右図に示す『将来の目指す方向性』を実現するため、徒歩や自転車、公共交通を中心とした以下の5つの戦略を設定する。

3つの基本方針と目標

基本方針1 安全・安心で快適に移動できる交通づくり	目標1 人にやさしく移動しやすい交通環境の実現 【評価指標例】 ・交通に関する市民満足度 ・駅・電停・車両のバリアフリー化率
基本方針2 まちの魅力・活力を高める交通づくり	目標2 まちづくり施策と連携した公共交通ネットワークを形成する 【評価指標例】 ・幹線公共交通の利用者数 ・交通結節点の整備箇所数
基本方針3 環境・健康を意識した交通づくり	目標3 環境負荷軽減、健康増進に寄与する交通行動の実践を促す 【評価指標例】 ・市内事業所のエコ通勤率 ・徒歩及び自転車の利用者数

様々な事業を戦略で展開

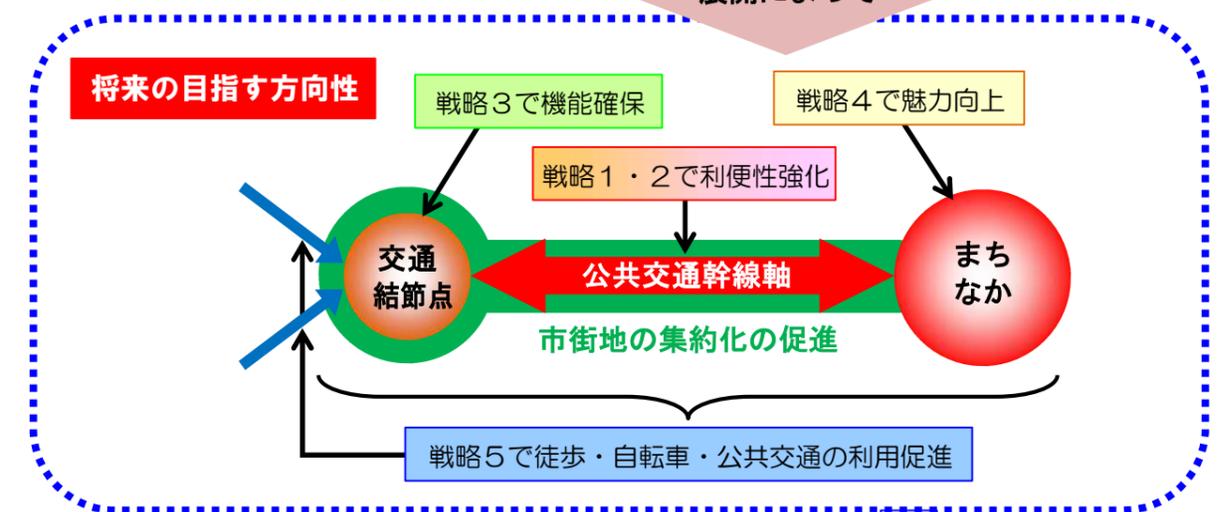
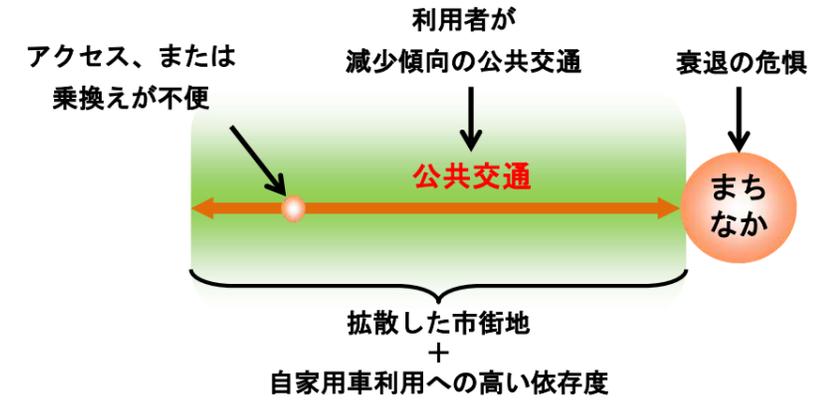
5つの戦略

- 戦略1：路面電車及び鉄道の利便性と持続性の確保
- 戦略2：バス路線による公共交通幹線軸の形成
- 戦略3：拠点形成に寄与する交通結節点の整備
- 戦略4：都市拠点の賑わい創出に寄与するまちなか交通の魅力向上
- 戦略5：徒歩・自転車・公共交通を中心としたライフスタイル変革の促進

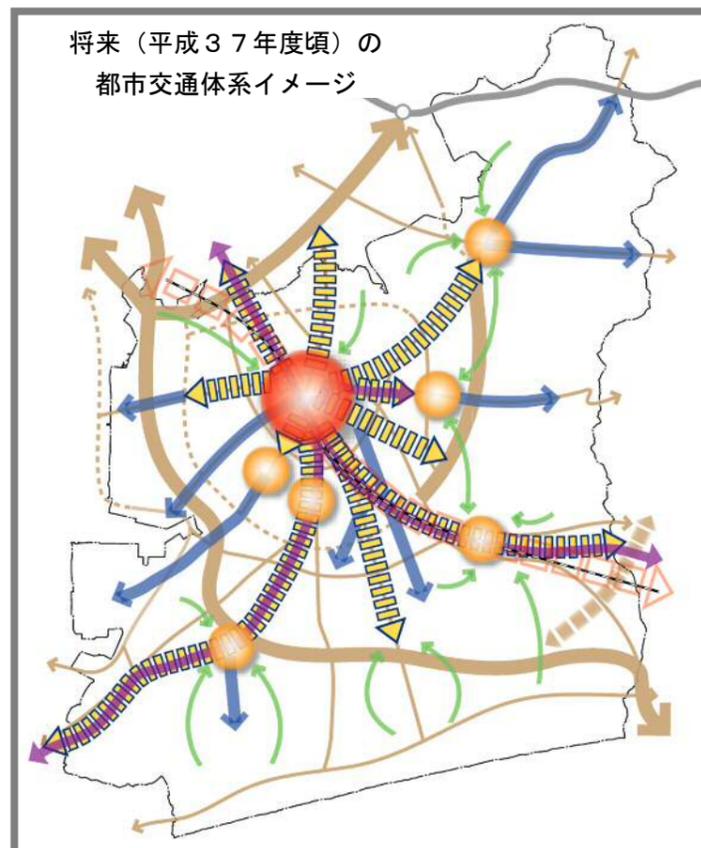
【戦略の設定の視点】

- 戦略1の「路面電車及び鉄道の利便性と持続性の確保」は、公共交通幹線軸として相応しい移動手段となるような鉄軌道の利便性と持続性の確保を目指すため設定。
- 戦略2の「バス路線による公共交通幹線軸の形成」は、市内バス路線における公共交通幹線軸の確立と、公共交通幹線軸を補完する支線公共交通の位置付けを明確にし、公共交通幹線軸としての相応しい利便性と、幹線と支線による公共交通ネットワークの確保を目指すため設定。
- 戦略3の「拠点形成に寄与する交通結節点の整備」は、交通結節点における公共交通相互の円滑な乗継や交流拠点としてふさわしい機能の確保を目指すため設定。
- 戦略4の「都市拠点の賑わい創出に寄与するまちなか交通の魅力向上」は、都市拠点における、まちの魅力向上や交流を促進に寄与する、徒歩・自転車・公共交通の利用環境向上を目指すため設定。
- 戦略5の「徒歩・自転車・公共交通を中心としたライフスタイル変革の促進」は、徒歩・自転車・公共交通の利用意識の向上を目指すため設定。

現在の主なイメージ



将来（平成37年度頃）の都市交通体系イメージ



凡例	
●	都市拠点
●	地域拠点
→	新幹線
→	鉄道・路面電車
→	公共交通幹線軸
→	支線公共交通
→	アクセス交通
→	幹線道路

これら5つの戦略を都市交通体系に合わせて市域全体に展開を図り、目標の達成を目指す。

3.5 パッケージ事業の設定と主な事業候補

- 5つの戦略について、実施効果を高める事業を明確にするために、各戦略のパッケージ事業の方針を設定した。

戦略1：路面電車及び鉄道の利便性と持続性の確保（路面電車と鉄道の魅力を高める活性化・再生プラン）

パッケージ事業1-1：路面電車の走行環境の再整備と安全・安心・快適な交通環境の整備

【パッケージ事業1-1の方針】

- 豊橋駅と市東部との移動を支える公共交通幹線軸として相応しい輸送力や速達性を確保するため、交通環境の整備を行う。また、誰もが安全に、安心して利用できる交通施設として、施設更新やバリアフリー化などを実施する。

- 【事業候補】
- ・ 東田交差点の軌道敷改修
 - ・ 前畑電停のバリアフリー化
 - ・ 赤岩口電停の交通結節点機能強化の検討 など

戦略1：路面電車及び鉄道の利便性と持続性の確保（路面電車と鉄道の魅力を高める活性化・再生プラン）

パッケージ事業1-2：渥美線の利便性向上と安全・安心・快適な交通環境の整備

【パッケージ事業1-2の方針】

- 豊橋駅と市南西部、田原市との移動を支える公共交通幹線軸として、誰もが安心して利用できる交通環境を確保するため、施設の更新や耐震化、バリアフリー化を実施するとともに、駅周辺での駐輪環境の向上を図る。

- 【事業候補】
- ・ 渥美線の橋梁耐震化
 - ・ 南栄駅のバリアフリー化
 - ・ 南栄駅の駐輪場整備 など

戦略2：バス路線による公共交通幹線軸の形成（利便性を高めるバス路線ネットワーク再構築プラン）

パッケージ事業2：バス路線網の再構築と利用しやすい交通環境の整備

【パッケージ事業2の方針】

- 市内の移動及び隣接都市との移動を支える公共交通として、バス路線の幹線化と幹線と支線による公共交通ネットワークを展開するため、公共交通幹線軸に必要な運行本数や時間帯などのサービス水準を明確化の上で、公共交通幹線軸とするバス路線の整備と、支線公共交通とするその他のバス路線や「地域生活」バス・タクシーによって公共交通ネットワークを整備するとともに、分かりやすく、使いやすい利用環境を構築する。

- 【事業候補】
- ・ 幹線バス路線の運行本数・運行時間の見直し
 - ・ ICカード導入の検討
 - ・ 「地域生活」バス・タクシーの運行
 - ・ 路線バス遅延箇所の対策
 - ・ 広域バス路線の充実 など

戦略3：拠点形成に寄与する交通結節点の整備（交流を育む拠点と結節点形成プラン）

パッケージ事業3：交通結節点の整備

【パッケージ事業3の方針】

- 拠点形成に寄与する利用しやすい交通結節点とするため、公共交通相互や自転車と公共交通等の円滑な乗継ができる施設整備や快適な待合環境等を整備する。

- 【事業候補】
- ・ 豊橋駅西口駅前地区整備の検討
 - ・ 赤岩口電停の交通結節点機能強化の検討（再掲） など

戦略4：都市拠点の賑わい創出に寄与するまちなか交通の魅力向上（まちなか交通の魅力向上プラン）

パッケージ事業4：まちなかを元気にする交通環境の整備

【パッケージ事業4の方針】

- まちなかにおいて、交流を促進し、賑わい創出や、魅力・活力を高めるため、歩行者・自転車が優先され回遊性を高める空間の整備と、分かりやすい交通情報を提供するとともに、多様な交通手段で市内外からまちなかに来訪できるよう、自転車や公共交通の利便性を高める利用環境の向上を図る。

- 【事業候補】
- ・ 駅前大通や萱町通などにおけるストリートデザイン事業
 - ・ 短時間駐輪場の整備
 - ・ 軌道緑化の整備
 - ・ 分かりやすい統一サインの導入 など

戦略5：徒歩・自転車・公共交通を中心としたライフスタイル変革の促進（環境と人にやさしい交通行動実践プラン）

パッケージ事業5：徒歩・自転車・公共交通の利用意識向上のためのハードとソフトの連携

【パッケージ事業5の方針】

- 環境負荷低減と健康増進の双方に寄与するため、歩行空間、自転車通行空間のハード整備とあわせ、徒歩・自転車・公共交通の利用意識の向上を促すモビリティ・マネジメントの実施、利用啓発に繋がる支援制度の構築やイベントの実施、関係者の責務を定める条例の制定などのソフト事業を実施する。

- 【事業候補】
- ・ 自転車通行空間の整備
 - ・ 学校教育モビリティ・マネジメント
 - ・ エコ通勤優良事業所認証制度を活用した支援
 - ・ 公共交通条例の制定 など

3.6 個別推進事業の事業例

- 重点的な取組みとは別に、「目標」の達成に向けて進める個別事業の例を示す。

- 【事業候補】
- ・ 都市計画道路の整備 など